

### インプット

**資本**

**【拠点】**  
7研究所  
1技術センター  
事業部開発部

**【研究開発費】**  
約214億円  
※ 事業部開発部費は含まず

**【研究員数】**  
約1,100人  
※ 事業部開発部の人数は含まず

**【インフラ整備】** 投資約221億円  
四日市地区(2019年完工)  
● 新研究棟  
● カスタマーラボ棟  
南陽地区(2020年完工)  
● 新研究棟  
● 新ベンチ棟  
● 新検査棟  
東京地区(2026年完工予定)  
● 新研究棟、CS棟

プロセス				
東ソーの「化学」	重点3分野	オープンイノベーション	DX	
無機化学 有機化学 高分子化学 物理化学 生化学 分析化学 ⋮ ⋮	<b>ライフサイエンス分野</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオプロセス上流工程製品</li> <li>バイオプロセス下流工程製品</li> <li>新規診断・検査製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ iPS細胞用培養基材の開発</li> <li>◇ 新規分離剤の開発、MIを活用したタンパク質の設計など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新潟大学 腎疾患早期検出マーカー探索</li> <li>■ 東京大学医科学研究所 パイオ医薬品製造に関わる技術</li> </ul>	
	<b>電子材料分野</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイ材料</li> <li>高速大容量通信材料</li> <li>半導体関連材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山形大学 プリントドエレクトロニクス材料の開発</li> <li>■ 慶応義塾大学 フォトニクスポリマーの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「富岳」成果創出加速プログラム 計算システムを用いた高分子物性データベースの構築</li> <li>◇ ジルコニア・ゼオライトの用途開発、石英の高純度化など</li> </ul>	<p><b>MIセンター新設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● MI教育の推進(講座開設)</li> <li>● 外部技術導入によるMI技術の高度化</li> <li>● 最先端技術への投資・活用</li> </ul>
	<b>環境・エネルギー分野</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術</li> <li>廃プラスチックリサイクル技術</li> <li>次世代電池材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CO<sub>2</sub>有効利用(GI基金事業) CO<sub>2</sub>からポリウレタン原料の製造技術</li> <li>● CO<sub>2</sub>分離膜(CCUS研究開発) 燃焼後排ガス(CO<sub>2</sub>/N<sub>2</sub>)向けCO<sub>2</sub>分離膜</li> <li>◇ Mnやポリマーを用いた電池材料開発、Mnのリサイクルなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発 多層プラスチックのハイブリッドリサイクルおよびケミカルリサイクル</li> <li>● 非貴金属触媒を利用した水電解 高効率・低コストの水電解技術</li> </ul>	

● NEDOプロジェクト(国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構)    ■ 産学連携  
○ JSTプロジェクト(国立研究開発法人科学技術振興機構)    ◇ ベンチャーとの取り組み

### アウトプット

**CSR重要課題とKPI**

- ① 環境・QOLに貢献する新製品・技術の創出
- ② 研究開発力の強化(投稿の件数)
- ③ 社会課題解決型オープンイノベーションの実施(ニュースリリース件数)
- ④ 技術の資産化(特許出願数)
- ⑤ MI活用の推進

**社会課題解決型の製品・技術の創出**

**スペシャリティ事業の営業利益 1,000億円超への貢献**

関連するSDGs